

平成 24 年行政事業レビューシート (外務省)

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アジア欧州財団拠出金（任意拠出金） (ASEF:ASIA-EUROPE FOUNDATION)		担当部局庁	欧州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度開始		担当課室	アジア欧州協力室		室長 倉光 秀彰	
会計区分	一般会計		施策名	国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条三		関係する計画、通知等	ASEM第1回首脳会合議長声明、アジア欧州財団に関する外相宣言、ASEM第6回首脳会合議長声明			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ASEMの唯一の常設機関であるアジア欧州財団(ASEF)に対して、プロジェクト実施経費の任意資金拠出を行うことにより、アジア・欧州間の人的、知的、文化交流活動を支援するとともに、ASEMプロセスにおける我が国の影響力・発言力を強化する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASEFが実施するプロジェクトの経費に充てるための資金拠出を行い、ASEFの活動目的であるアジア・欧州間の人的、知的、文化交流の促進に寄与し、かつ、我が国的重要施策及びASEMの優先分野に関連のある事業をイヤマークすることによって、我が国によるASEMプロセスへの具体的な貢献を示す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	当初予算	5	4	2	2	2	
	補正予算	-	-	-	-		
	繰越し等	-	-	-	-		
	計	5	4	2	2	2	
	執行額	3	4	2			
執行率 (%)	65.3%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	毎年我が国イヤマーク事業を最低一件実施することにより、アジア欧州間の人的交流を促進し、ASEMプロセスに貢献する。	事業実績 件数		事業 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ASEMプロセスにおける政策への寄与数	活動実績 (当初見込み)		項目	5 -	10 ()	5 (5)
単位当たりコスト	約81,521SGD／参加国等		算出根拠	ASEFのプロジェクト総事業費3,913,017SGD÷参加国等48=81,521			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費	2	2				
		計					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的状況・予算の	<input type="radio"/> 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 <input type="radio"/> 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 <input type="checkbox"/> 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		<ul style="list-style-type: none"> 任意拠出金は、日本社会と日本人がアジア及び欧州との繋がり及び相互理解を深める上で、優先度の高い事業の実施のために充てられている。 ASEM参加国は、ASEM首脳会合において、国としての財政的貢献を要請されている。
資金の流れ・使途・費目・	<input type="checkbox"/> 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 <input type="radio"/> 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 <input type="radio"/> 受益者との負担関係は妥当であるか。 <input type="checkbox"/> 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 <input type="radio"/> 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		<ul style="list-style-type: none"> ASEFは単位あたりコストの削減に努め、2012年度のプロジェクト経費予算を前年比で26%削減した。 2012年度イヤマーク事業における我が国の負担率は9%。
活動実績・成果実績	<input type="radio"/> 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 <input type="radio"/> 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 <input type="radio"/> 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 <input type="checkbox"/> 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 <input type="checkbox"/> ※類似事業名とその所管部局・府省名 <input type="checkbox"/> 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		<ul style="list-style-type: none"> 2012年は首脳会合が予定されることから、活動の成果に対する評価が議長声明に反映されることが見込まれる。
点検結果	<p>ASEFは、ASEMの唯一の常設機関として、ASEMの第3の柱(社会、文化、教育その他)においてアジア・欧州間の相互理解を促進する重要な役割を果たしている。現在、財団運営の更なる効率化を高める努力を行っており、我が国は、理事会及び関連の下部委員会のポストを占め、財団の運営に関するあらゆる事項に関与できる立場から、ASEFのそのような改革努力への支援を積極的に実施。</p>		

予算監視・効率化チームの所見

一部改善	拠出額減額
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減

補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	161	平成23年行政事業レビュー	157
---------------	-----	---------------	-----